

あいさつ 広域災害への対応、さまざまな災害に対する技術が重要  
平田 直（防災科学技術研究所 首都圏レジリエンスプロジェクト総括）



主催者を代表して挨拶した防災科学技術研究所 首都圏レジリエンスプロジェクト総括の平田直氏は、昨年6月の山形県沖地震、9月の台風災害などの自然災害によって「改めて首都圏のレジリエンス力、防災力を向上させることが重要」と認識を新たにしたことを語りました。また、当初は地震災害についての研究から始まった同プロジェクトについても「広域災害への対応、そしてさまざまな災害に対応できる技術をつくり出すことが非常に重要」との考えを述べました。

平田氏は今回の報告会について「本プロジェクトは5カ年で進められており、間もなく3年目を終えようとしている。レジリエンス力を向上させるための研究開発がますます進んでいくよう、今日の報告会を開催した」と期待を込める一方、新型コロナウイルス感染症対策として無聴衆開催によるウェブ配信を行うなど、「感染拡大のリスクを抑えつつ、首都圏のレジリエンス力向上を図るための議論ができるよう」可能な限りの環境整備に努めたことも説明しました。